



Action!
36



れんごう鳥取 フォトニュース

第28回定期大会特集号 (2020年12月1日発行)



QRコードで
HPへGo!!

発行・日本労働組合総連合会鳥取県連合会
発行人・本川 博孝 編集人・森本 哲司
〒680-0847 鳥取市天神町3-0-5
E-mail: tottori@tottori.jtuc-rengo.jp
ホームページ: https://jtuc-tottori.jp



定期大会スローガン

私たちが未来を変える ～安心社会に向けて～

— 連合鳥取「第28回定期大会」を開催 —



連合鳥取は11月10日(火)、ハワイアロハホール・大ホールにおいて「第28回定期大会」を開催し、2020年度の活動の総括を行うとともに、2021年度の運動方針・予算と「第3次男女平等参画推進計画+1」を満場一致で決定しました。

今大会はコロナ禍での開催であり、感染予防対策を徹底し、短時間開催とするため来賓は4人にご臨席いただき、例年ご案内するみなさんからは多くの祝電・メッセージを頂戴しました。

※出席状況 / 代議員 109人 (うち女性 32人・参画率 29.4%) / 定数 131人
特別代議員 3人 執行部 30人 / 定数 38人 傍聴 3人

“連合鳥取ユニオニオン”誕生!

ぼくは連合のキャラクター。名前は「ユニオニオン」だよ! ユニオニオンは「ユニオン」と「オニオン」をもじった名前。実は「労働組合=ユニオン」とは、いくつもの葉が重なり合っていて「たまねぎ=オニオン」が語源とされているんだ。2020年11月、全都道府県のご当地ユニオニオンが誕生したんだよ。

鳥取のぼくは、(カニ) (砂丘) (大山) と「(星取県)の星★」がモチーフで鳥取をPRするよ。

来賓のみなさま



■ごあいさついただいた来賓のみなさま
【写真左から】 石田昭浩 連合副事務局長 石田 聡 鳥取労働局長
小林綾子 鳥取県統括監 湯原俊二 第49回衆議院議員選挙予定候補者【連合鳥取推薦】
(立憲民主党鳥取県総支部連合会副代表)

■多くの祝電・メッセージもいただきました
・推薦議員各位 ・県議会議長 ・市長各位 ・福祉・事業団体代表者各位
・連合中国ブロック連合会各位 ・鳥取退職者連合会長 etc.



大会・議案討議の様子



■主催者あいさつ 本川博孝会長



■議長団
【左から】 村尾菜穂子 代議員 (JR連合) 太田裕美 代議員 (自治労)



■開会あいさつ 澤田陽子副会長



■活動報告・議案提案
【上段左】 田中穂事務局長 【上段右】 江口真也副事務局長 【下段】 前田和俊会計監査



■新規加盟組合あいさつ
連合・とっとりユニオン「智頭町社会福祉協議会労働組合」
【左から】 塚川真理子副執行委員長 寺坂由美子執行委員長 加藤かおり書記長



■各種委員長の報告



【左から】 山崎陸資格審査委員長 垣屋克吉大会運営委員長 金田慎一選挙管理委員長

■新任役員あいさつ

【左から】 執行委員 松岡 誠 (紙パ連合) 高橋史人 (交通労連) 石原さやか (女性/日教組) 会計監査 平木照久 (全国ガス)



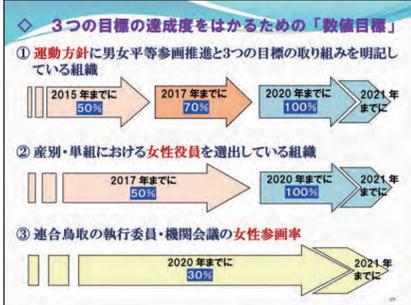
お世話になりました

■退任役員あいさつ
前執行委員 古川峰央 (女性/日教組) 写真右
＜大会欠席/年度途中含む＞
前執行委員 井塚和幸 (紙パ連合) 中嶋逸公 (交通労連) 前会計監査 梅本 隆 (全国ガス)



よく お願いします

連合鳥取 プラスワン
第3次男女平等参画推進計画+1
～「もう一歩」「もう一つ」「もう一年」プラスワン～
★3つの数値目標
計画期間を「2013年11月～2020年10月」の7年の年限を「2021年10月までの8年」に読み替え、それぞれ2021年までに達成できるように取り組む。



多様な生き方が実現できる平等社会へ
取り組みの成果と課題を踏まえた歩みを止めず、更に社会の変化や新たな課題にも対応するため、「もう一歩」「もう一つ」「もう一年」+1(プラスワン)の前進を!!



- ◆ 連合鳥取の取り組み
① 男女平等参画の推進とフォローアップの強化
② クオータ制の導入とポジティブ・アクションの強化
③ 組織・労働・政策課題と男女平等参画の一体的な取り組み
④ 人材育成の充実
⑤ 女性委員会の組織強化
⑥ 構成組織の取り組みの支援
⑦ 地域協議会の取り組み
- ◆ 構成組織の取り組み
① 男女平等参画推進方針の決定
② 男女平等推進委員会の設置と推進計画の策定・実行
③ 男女平等推進担当部署の設置
④ 女性の意見が反映される組織づくり

★連合鳥取の取り組み/7項目 ★構成組織の取り組み/4項目
7年間の取り組みと経過、課題のまとめを、構成組織トップのリーダーシップのもと、一歩でも前進させていく。



■挙手で承認する代議員



■質疑・意見を発言する代議員 (左から) 高見信正代議員 (自治労) 田代実鈴代議員 (運輸労連) 河村正之代議員 (電機連合)

— 報告・運動方針へ寄せられた質疑&ご意見 (主旨) — (青) 執行部答弁

- 「過半数代表者制」について/高見代議員
連合本部は「労働協約の適用拡張や労働者代表制などについて、具体的に取り組む」とし、「すべての職場に過半数代表制の適正な運用を徹底するとともに、労働組合の役割の強化につながる方向で、労働者代表制の法制化に向けて検討する」と方針を示している。
「労働者代表制」は中小組合だけの問題ではなく、「将来この社会で労働組合がどのような地位を占めるのか」という問題になってくるので、今後、労働者代表制について、拙速に議論がすすまないよう、また問題点はできる限り明らかにするよう、連合中央段階などで求めていきたい。
⇒ そもそも「労働者代表制」の意義・目的は「職場の声、課題、問題を正しく適正に使用者に伝える」ためのものである。「真の職場の声が経営者に伝わる仕組み」になっていないということ、これが中小にいくほど大きな問題化していることが問題となっていると思う。
そのままにしておくことはできないし、高見代議員の発言の通り「地方から何が出来るか」というと、例えば、私が出席する「地方連合会事務局長会議」とか、会長が出席する「地方連合会代表者会議」には、連合本部の会長、事務局長も出席するので、引き続き連携をとって「地方の声」として連合本部へ伝えていきたいと考える。
- 「クオータ制の導入」について/田代代議員
根強いジェンダーギャップを克服するには、一定数を女性に割り当てる「クオータ制」を導入し、世の中の動きをつくる必要があると考える。連合鳥取「第3次男女平等参画推進計画+1(プラスワン)」の方針では、「クオータ制の導入を検討する」となっているが、是非とも「推進する」としていただきたい。
⇒ 少数意見が影響力を持つ集団となる境が約30%とされている「クリティカル・マス」の観点からも、組織の意思決定に女性参画 30%以上となるよう、一定数を割り当てる「クオータ制」に意義があり、一歩でも推進する。
- 「第3次男女平等参画推進計画+1(プラスワン)」について経過説明を求める。/河村代議員
「第3次男女平等参画推進計画+1(プラスワン)」に賛成だが、若干唐突な感がある。至った経過について聞きたい。
労働組合は基本「2年」を1期として各種取り組んでいる。「プラス2(ツー)」という考え方はないのだろうか?
⇒ 7年間の取り組みでは「第3次男女平等参画推進計画」は達成できていない。国は「202030(2020年には指導的地位の女性割合を30%)」の目標を掲げていたが、「2020年代の可能な限り早期」と目標を先送りとした。世界基準は「203050(2030年には指導的地位の女性割合を50%)」とさらに先行しているが、「連合鳥取の計画を未達成のまま新たな計画を立てる」よりも、「到達できていないのに途中でやめて新たな目標を立てる」よりも、「従来の目標値に近づいている今の続きで今後1年間頑張っていく」とこととした。

大会宣言

連合鳥取は、今年2月結成30周年を迎えた。私たちは今、新型コロナウイルス感染症拡大という、全地球的な緊急事態に際し、私たちの命や暮らし、仕事や職場は、不安の拡大と不確実性の高まりという深刻な危機にさらされ、わが国の経済社会は、さまざまな脆弱性が露呈をした。眼前の危機への対応はもとより、わが国の社会・経済・政治のあり方を徹底的に問い直す力、そして、変革する歩みこそが、将来への確かな道筋になると確信する。

我が国は、人口減少と超少子高齢化が急速に進み、すでに顕在化している労働力不足への対応のみならず、社会保障制度と地域社会の持続可能性を確保することが大きな課題となっている。

また、AIやIoTなど第4次産業革命と言われる技術革新の進展により、経済効果と生活者の利便性向上などが期待される一方で、事実上、従属的雇用関係になりながら、法規定の解釈やその適用に、法律に不備や空白があって、その狭間に置かれるような労働者いわゆる曖昧な雇用の増加なども指摘されている。こうした光と影を見据えつつ、多様な就労者に対する法的保護の推進や人的投資の促進など、人が中心となった技術革新への道しるべを明らかにしていくことが急務となっている。

■提案 小西由起執行委員 (女性代表/J-P労組)

そのためには、安心の社会保障、中小企業の基盤強化と地域の活性化、ジェンダー平等施策の更なる推進、生活と仕事のバランスがとれた働き方など、社会、地域、そして、働き方を支える基盤を一刻も早く整えなければならない。同時に、国民一人ひとりの声を真摯に受け止め、人々の様々な不安を払拭し得る政治が不可欠である。働く者・生活者が求める政策、そして、多様な民意を反映すべく健全で緊張感のある議会制民主主義の実現に向けた着実な歩みを強く求める。私たちは、1年以内に施行される第49回衆議院選挙において、鳥取県第2区「湯原俊二」候補の絶対対選に向け連合鳥取の総力を挙げた闘いをここに誓う。

アフターコロナの社会像を見極めた今こそ、すべての働く仲間をまもり・つなぐための集団的労使関係の追求、政策の実現と労働条件の改善、真の多様性が根付く職場・社会の実現に向けて、大会スローガンである「私たちが未来を変える～安心社会に向けて～」との決意のもと、全ての働く人の暮らしの向上、誰もが平等に安心して働ける職場環境に向けて広がりのある運動をつくりあげていこう。

2020年11月10日 連合鳥取第28回定期大会

■フード・ドライブへご協力ありがとうございました

「子ども食堂」などを支援する「フード・ドライブ」へ食品をご提供いただきました。



乾麺・オイル・缶詰・スパイスなど